

ECOサイクルプロジェクト

三国成子
(ECOサイクルプロジェクト事務局)

2008年12月6日

1

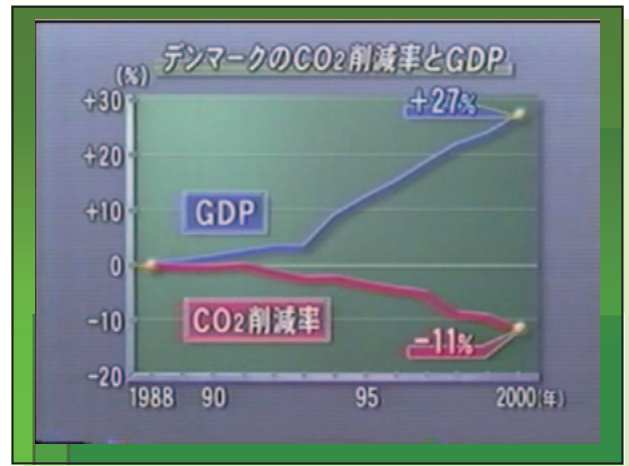


デンマーク 2005年2月

2



3

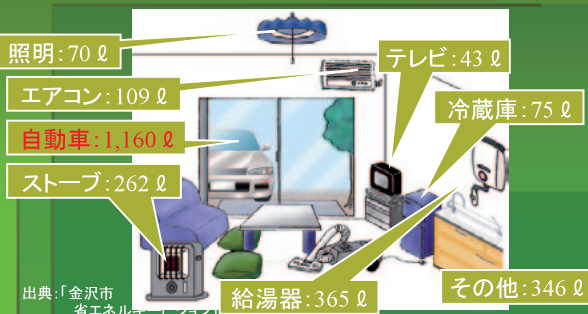


4

ECOサイクルプロジェクト実施の背景

金沢市一世帯当りの
年間エネルギー消費量(原油換算)

合計
2,430 ㍓



5



6

2007ECOサイクルの成果 目標1000名 → 参加者1303名

CO2削減量 : 134t (杉の木に換算: 9,588本)

たとえばー

1日10kmの距離を自転車で走行し、1年間継続すると自動車の使用と比べておよそ840kgの二酸化炭素が削減されます。これはスギの木が1年間に吸収する二酸化炭素の量60本分に相当します。

また年間のガソリン代を約5～6万円節約することにつながり、自転車を利用することで、地球にも家計にもやさしい活動の実践になります。



7

8

企業の協力で制作したテスト



9

高校生1000人に実施



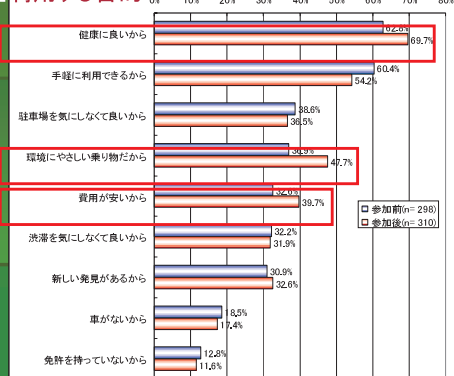
海外の事例や取り組みなどを紹介



テストに取り組む様子

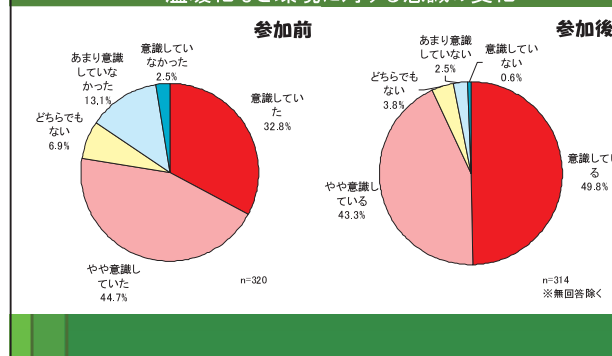
10

自転車を利用する目的



11

“参加者の意識の変化” ～温暖化など環境に対する意識の変化～



12

自転車道ネットワーク作りに向けて

三国成子
(地球の友・金沢)

2008/12/6

1

1. 自転車・歩行者安全マップの出発点

- 1997年のドイツ・スイス・オランダ訪問により交通と環境に密接なつながりがあることに気づく

金沢市内



2

- 2000年
- 金沢市で「交通と環境」のフォーラムを開催
- Matthias Zimmermann氏(「スイス交通と環境」代表)と金沢市内を自転車で走り現状を調査する



3

3

- 2001年金沢市内・内灘町・野々市町から10校1500人の自転車通学の高校生を調査する
- 金沢自転車マップ(2002年)

目的

金沢市内および
近郊の道路状況と
交通環境を知る

調査結果

道路状況・交通環境ともに
問題点が見つかる



4

4

2. 「自転車・歩行者安全マップ」の制作過程

- 目的
- 住民参加のもと、安心して利用できる歩行者・自転車路を確保する
 - 調査やマップの制作を通して、校区内の道路環境や交通安全対策に関心を持ってもらう



校下の道路状況を調査(児童・生徒)
一人一枚の白地図に通学や生活に使
っている道路を安全・危険・快適・危険な交
差点に色分けし、その理由も書く



(PTAによる) 調査結果の集計

5

5

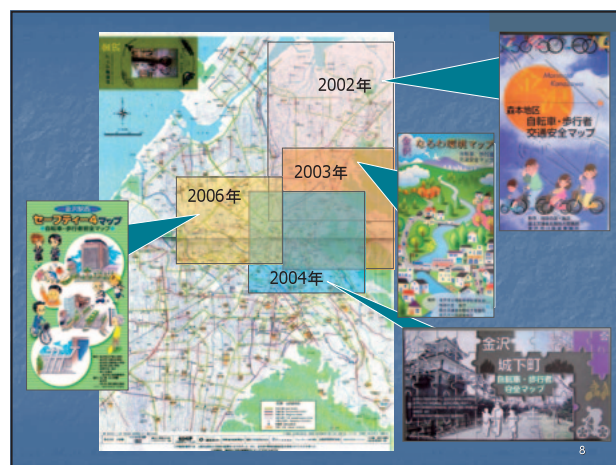


完成した
なるわ環境マップ

6



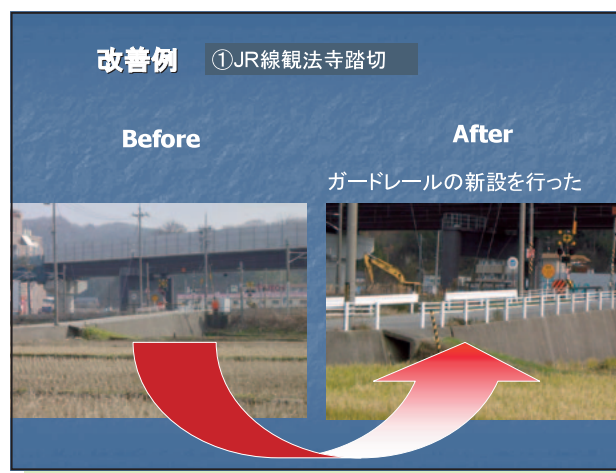
7



8



9



10



11



12

3. 地球の友・金沢の役割と視点について

(1)地域住民と行政機関との橋渡し

(2)現場の状況を全体的視点に立って見る



13

(3)交通弱者(児童生徒・高齢者・障害者など)の視点に立って
(4)継続性

～国道159号線での社会実験～



当時の状況

歩道狭い上に自転車、歩行者が多い。
小学生には自転車との接触事故の危険があった。

2004年

改善策提案

1. 歩道の拡張、及び電柱の地中化による歩道の確保
2. バスレーンを自転車と共有する

担当部局が回答した3年以内の対策可能案

国:山側環状道路共用後、交通量を調査し、対策を検討する

警察:協議中

(道の点検簿より)

2007年

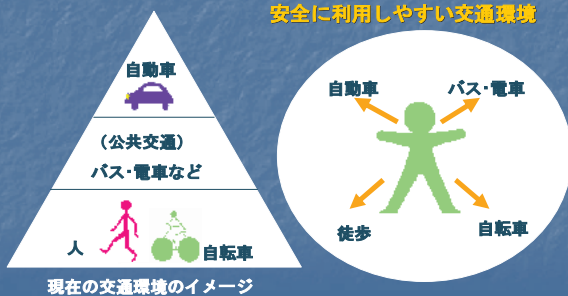
国道159号線での社会実験(バスレーン自転車通行指導帯)

14

4. 環境としての交通のめざすかたち

人が自由に交通手段を選択でき、
安全に利用しやすい交通環境が基本

安全に利用しやすい交通環境



現在の交通環境のイメージ

15

事故を防ぐ工夫
ドイツ・スイスの例に学ぶ

16

16

日本での自転車事故の特徴

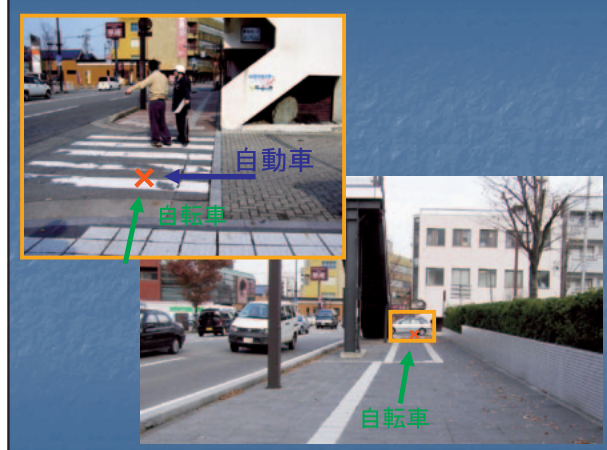
①出会いがしらの事故



1. 車は、取り付け道路から幹線道路に出る
2. 自転車がスピードを上げて歩道を走ってくる
3. 自転車は右側の歩道を走っている
4. 横断歩道の階段が歩道を狭くしている

17

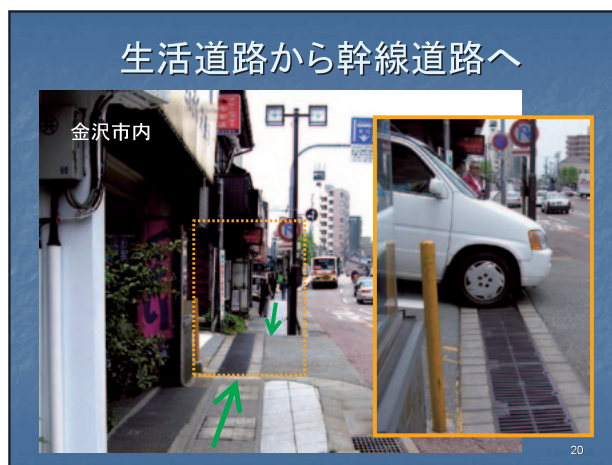
17



18



19



20



21



22

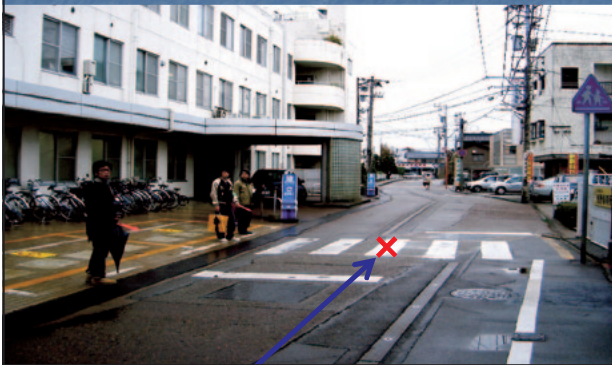


23



24

③横断歩道上での事故



25

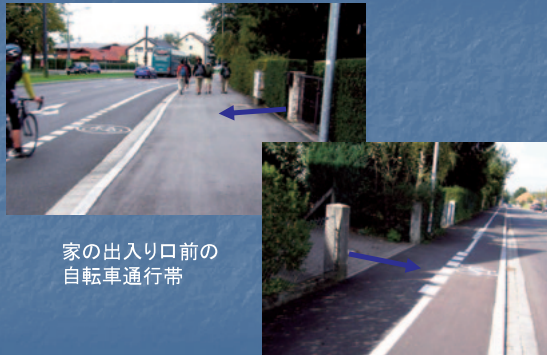
生活道路から幹線道路へ(スイス)



26

26

家の前の自転車通行帯(ドイツ)

家の出入り口前の
自転車通行帯

27

27

駐車場前の自転車通行帯



駐車場前

28

28

■ガソリンスタンド前



出入口を示す



自転車通行帯



29

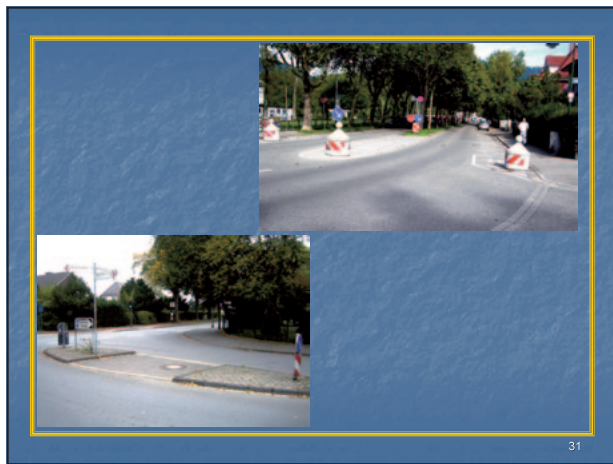
29

■横断者を守る工夫(ドイツ)



30

30



31

31



32

32

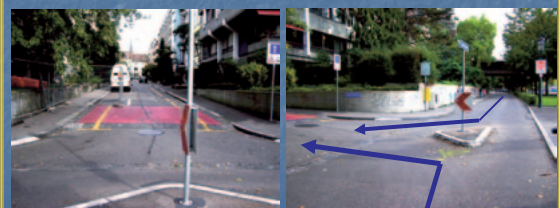
- 「生活道路は、自転車道路。車は通してもらっている」という考え方（ドイツ）



33

33

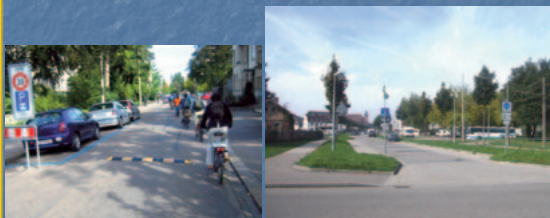
- 生活道路に通り抜けの車を入れない工夫
- 一方通行とハンプ（スイス）



34

34

- 生活道路に通過車両を入れない工夫、しかし自転車は通過できる
- Freiburg (Germany)
Basel (Switzerland)



35

35

自転車のスピードを落す工夫

- Freiburg (Germany)



36

36

自転車道路が交差するところでは

■ Freiburg
Münster
(Germany)



37

37

■ 様々な種類の標識



ドイツ

38

38



バス・タクシー・自転車レーン

バスレーンの利用
(スイス)

バスと自転車レーン

39

39

金沢市内での工夫



金沢市内国道159号線 朝の通勤・通学風景 (2006年)

40

40

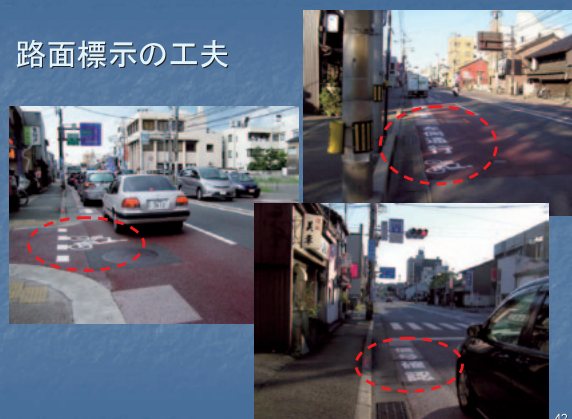
国道159号線での社会実験 (2007年10月より本格実施)
(バスレーン自転車通行指導帯)



41

41

路面標示の工夫



42

42



43



44

自転車道路ネットワーク作りの参考例 ポートランド(アメリカ)



45



46

ポートランド市内



47



48

47

48



49



50



51